

会 議 録

会議の名称	令和2年度第3回ふるさとづくり事業選定委員会
開催日時	令和3年2月2日(火) 開会：午後2時00分 閉会：午後2時40分
開催場所	行田市役所 305会議室
出席者(委員)氏名	石川隆美委員、横山晋一委員、栗原三郎委員、朝見康夫委員、岡田則之委員、小森百合委員、畔上兼彰委員、山崎博司委員、鈴木紀三雄委員
欠席者(委員)氏名	松本博之委員
オブザーバー	都市計画課：青山課長 文化財保護課：中島課長
事務局	企画政策課：島田課長、蓮見主幹、平林主任 都市計画課：寺田まちづくり推進幹、馬場主幹
会議内容	・提案事業の審査
会議資料	・会議次第 ・委員名簿 ・提案事業の概要 ・補助金等交付申請書 ・行田市ふるさとづくり事業評価シート ・行田市ふるさとづくり事業選定方針
その他必要事項	傍聴者0名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会
石川副市長	2 あいさつ ・石川副市長よりあいさつ
委員長	3 議事 (1) 提案事業の審査について
事務局	＜提案事業の概要に基づき説明＞
委員長	・ただいま事務局から説明があったが、ご質問やご意見があればお願いします。
朝見委員	・1階の入口及び2階の出窓については、修繕せず現状どおりということによいか。
事務局	・1階の入口及び2階の出窓については、資料のとおり施工する。店の大きな窓の窓枠は白色だが縁を茶色にし、壁も茶色にする。
栗原委員	・駐輪場の青色のテントは拘りがあるようだが、遠くから見ると目立つのでブラウン系の方が調和していると思う。また、駐輪場の下の方は錆が出ていたが、どういう対応になるか。
事務局	・駐輪場の柱はブラウンで塗装する予定である。青色のテントについて、申請者に確認したところ、店自体は茶系統の色になるが、青色をアクセントカラーとして使用したいとの申し出があった。テント幕に店の屋号も入れて、テント看板として利用したいとのことである。

栗原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テントに屋号を入れるとのことだが、色はどのようになるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋号の文字の色は白の予定であると聞いている。</li> </ul>
小森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のドアと窓枠がベージュ系というのは調和しないのではないかと思う。可能であれば、テントの色と駐輪場の柱の色は、もう少し落ち着いた色が良いのではないかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場の柱は、先ほども申し上げた通りブラウンである。ドアと出窓については、塗装をしても恐らく剥がれ落ちてしまうので、今回の申請には入っていない。そのため外壁の色やエアコンの室外機を隠すための縦格子等で、景観に配慮した修景整備としている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドアや窓枠について疑義が出ている。横山委員はどのようにお考えか。</li> </ul>
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓枠が白っぽい色だと違和感が生じるという意見があったが、資料1の3ページにあるサイディング材を見て、周囲に同化すると判断した。また、窓枠はアルミ素材のため、塗装は出来ない。代替案として、木目調のカッティングシートを貼るという手法もあるが、そこまではしなくても良いと判断した。</li> <li>・テントの色が青であることについては、他の委員の指摘どおり、暖色系の中に寒色系が入り、対比した色となるため、調和しないところもあるかもしれない。しかしながら、申請者の拘りであり、さらにテントシートなので色は経年変化により、色が落ちていくため許容範囲と考えた。申請者と話し合う余地があれば、助言する程度に留めることで良いのではないか。</li> <li>・また、店名が白抜きであると、目立ってしまう。そのため、いわゆる空色を組み合わせることで、お洒落な仕上がりとなるので、</li> </ul>

岡田委員	<p>そのような提案をしてみても良いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シートの中に市内業者の施工であるかという項目があるが、市外の事業者から見積りが提出されている。申請者への指導はどうなっているのか聞きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工業者については市内ではないと対象にならないと申請者に説明しているが、見積りは申請者に一任している部分もある。結果的に市内の事業者が一番安かったため、施工については市内の事業者である。</li> </ul>
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価シートに市内業者の施工とあるので、見積りを取るときも市内の事業者に限ると指導された方が良いのではないかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者に施工してもらう機会を増やすという意味でも、申請者には見積りの徴収先について指導していきたい。</li> <li>・なお、見積りの徴収状況について申請者に確認したいため、本日は事業の説明までとさせていただきます、申請事業の認定の可否については、書面による協議でお願いしたいがいかがか。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請事業の事業認定の可否について、事務局の案で進めていくことで良いか。</li> </ul>
委員	<p style="text-align: center;">＜異議なし＞</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認後、直ちに資料を整え、各委員に郵送等させていただくので、書面による協議についてよろしく願います。</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜閉 会＞</p>

	<p>書面決議の結果、2月4日に本委員会として事業認定することを決定。</p>
--	---